

1. 件名：福島第一原子力発電所における循環注水冷却・滞留水等に係る定例会
2. 日時：令和3年3月12日（金）10時00分～12時05分
3. 場所：原子力規制庁 18階会議室
4. 出席者

原子力規制庁

原子力規制部 東京電力福島第一原子力発電所事故対策室

伊藤係長、市森係員

澁谷調査官、大辻室長補佐、知見主任安全審査官、横山係長、高木技術参与（テレビ会議システムによる出席）

福島第一原子力規制事務所

石口上席放射線防災専門官、松本原子力運転検査官（テレビ会議システムによる出席）

東京電力ホールディングス株式会社 福島第一廃炉推進カンパニー

福島第一原子力発電所 担当14名（テレビ会議システムによる出席）

5. 要旨

- 東京電力ホールディングス株式会社から、資料に基づき、主に以下の説明があった。
 - 1号機原子炉建屋カバー（残置部）解体に伴うダストサンプリングポイントの一時撤去について
 - 1号機原子炉格納容器（PCV）内部調査にかかる干渉物切断作業の状況
 - ✓ PCV 内部調査装置投入に向けた作業状況
 - ✓ PCV 圧力低下不具合の原因と対策
 - 1号 PCV 水位の監視計器の設置について
 - ✓ 2月13日の地震後の水位低下を連続的に監視できるよう、サブプレッションチェンバーへの窒素供給圧力から水位を測定するための計器の設置を計画している。
 - ✓ 測定誤差については±10cm 程度を想定。
 - ✓ 水位の連続監視が可能となるため、トレンド確認に用いることを検討。
 - 1号機オペレーティングフロア（以下「オペフロ」という。）ダストモニタのバックグラウンド（BG）計数率の測定記録
 - ✓ 今般、ガレキ撤去作業から大型カバー設置のフェーズに移行し、ダスト飛散リスクが低減したことから、今後は定例報告を取りやめたい。
 - 3号機原子炉建屋北東三角コーナー水位上昇について
 - 淡水化側雨水 RO 濃縮水移送ラインの設置について
 - ✓ 2019年7月認可の実施計画変更において、淡水化RO膜装置側の雨水RO濃縮水移送ラインの設置完了目途を2020年度中としていた。
 - ✓ 一方で2020年11月より運用開始したモバイルRO膜装置のみで堰内雨水の発生量に対して十分な処理能力を発揮できることを確認したため、淡水化RO膜装置側の雨水RO濃縮水移送ラインの設置を中止としたい。
- 原子力規制庁は、上記説明を受けた内容について確認し、以下の通り指摘するとともに質問については見解を伝えた。
 - 1号機オペフロダストモニタの BG 計数率の測定記録については、計測自体は継続すること及び BG に異常な上昇が生じた際には別途報告することを求め、定例報告を取りやめても差し支えない旨を伝えた。
 - 淡水化側雨水 RO 濃縮水移送ラインの設置中止については、既認可の内容と異

なることから、変更に伴う影響を含めて、改めて詳細に説明することを求めた。

- 1号機オペフロ上の機器等に係る2月13日の地震後の状態については、カメラ等で目視した範囲では異常は確認されなかったと口頭で説明があったが、他設備も含めた全体の点検結果等についてまとめて報告することを求めた。

6. その他

資料：

- 1号機原子炉建屋カバー（残置部）解体について
- 1号機 PCV 内部調査にかかる干渉物切断作業の状況
- 1号原子炉格納容器水位の監視計器の設置について
- 1F-1 オペフロダストモニタの BG 計数率の測定記録
- 循環注水冷却スケジュール
- 使用済燃料プール対策 スケジュール
- 燃料デブリ取り出し準備 スケジュール
- 汚染水対策スケジュール
- 水処理設備の運転状況，運転計画（2021年3月5日～2021年3月18日）
- 福島第一原子力発電所の滞留水の水位について（2021年3月5日～2021年3月11日）
- 3号機 R/B 北東三角コーナー水位上昇について
- 淡水化側雨水 RO 濃縮水移送ラインの設置について